

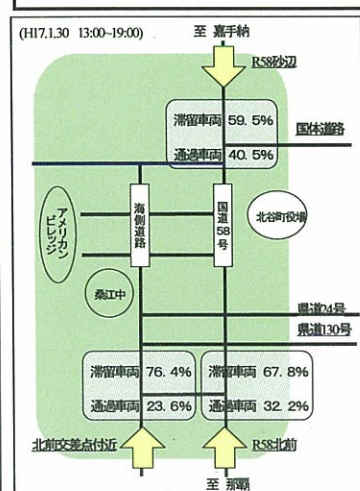
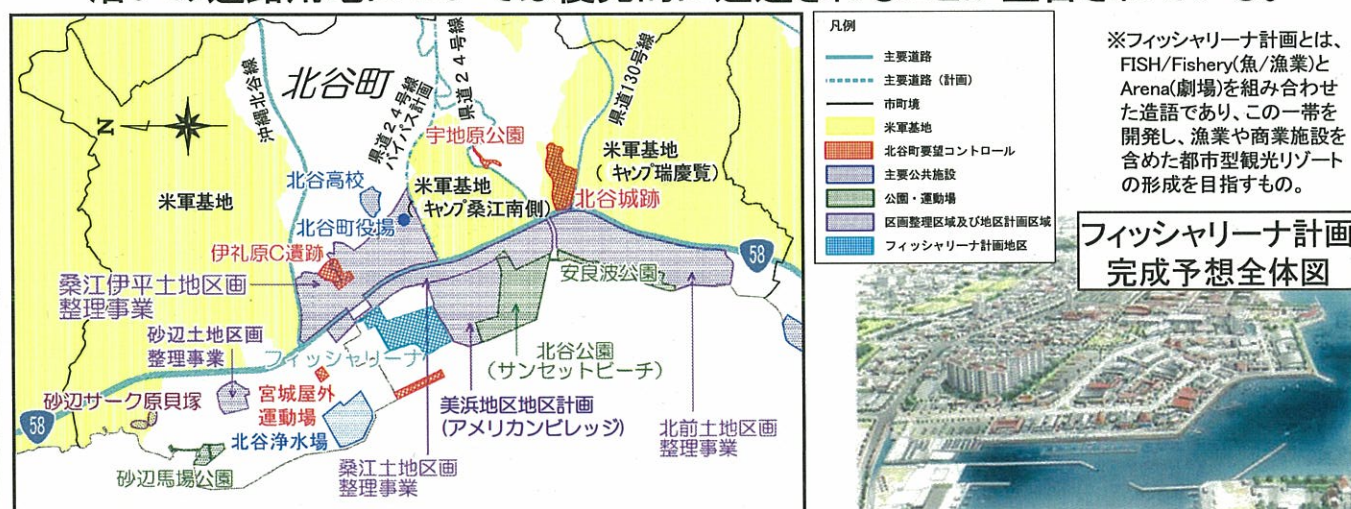
1. 中部西海岸地域の課題

①多様な目的を持った利用交通の輻輳と交通渋滞

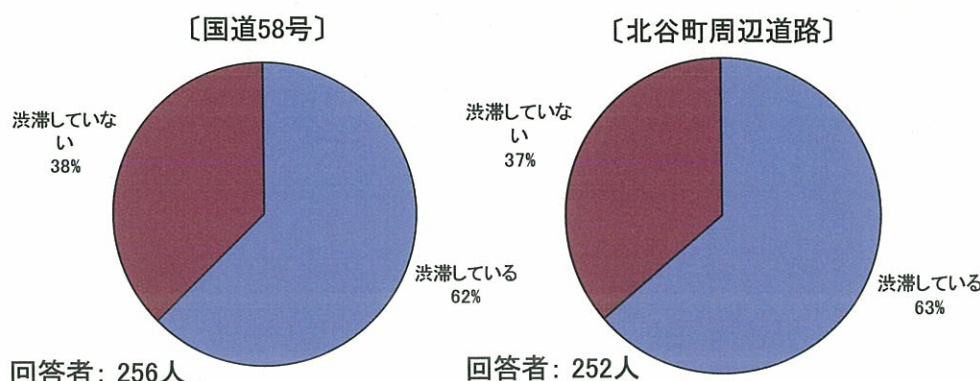
○北谷町は、内陸部の多くが米軍基地(キャンプ桑江、キャンプ瑞慶覧)で占められ、町を縦貫する主要幹線道路は国道58号のみである。そのため、通過交通、生活交通、観光交通等、全ての利用交通が国道58号に集中する結果となり、交通の円滑化が阻害されている(図1、2)

○北谷地区には米軍基地、就業施設や観光・商業施設が集中しているが、特に朝夕のピーク時や休日など、国道58号が混雑する時間帯には混雑を避けて地区内道路に通過交通が入り込んでおり(図2)、将来的に現況以上に交通需要が増加すれば、混雑を嫌った観光客が北谷地区での滞在時間をさらに減少させたり、他地区の利用へ転換、フィッシャリーナ計画※等開発計画へも影響する恐れがある(図3)

○米軍基地であるキャンプ桑江南側については、海軍病院の移転先が完成後に返還、キャンプ瑞慶覧については、H22.5.28日米共同宣言で国道58号沿いの道路用地については優先的に返還されることが宣言されている。



問: 国道58号および北谷町周辺道路について、現在の交通の状況に対する印象は?



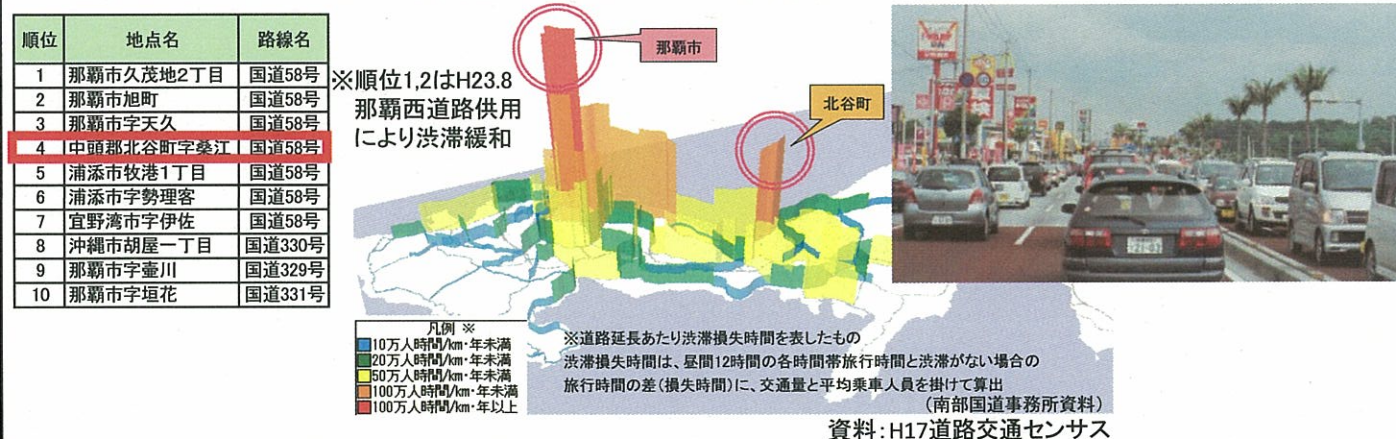
2. 原因分析

①北谷地区の交通渋滞・地域経済の停滞

○混雑時の旅行速度は18km/hと速度低下が著しく、渋滞損失時間も那覇都市圏に次いで高く、管内ワースト4位 (図4)

○休日は、買物・観光交通により、さらに激しく渋滞(旅行速度8.8km/h)

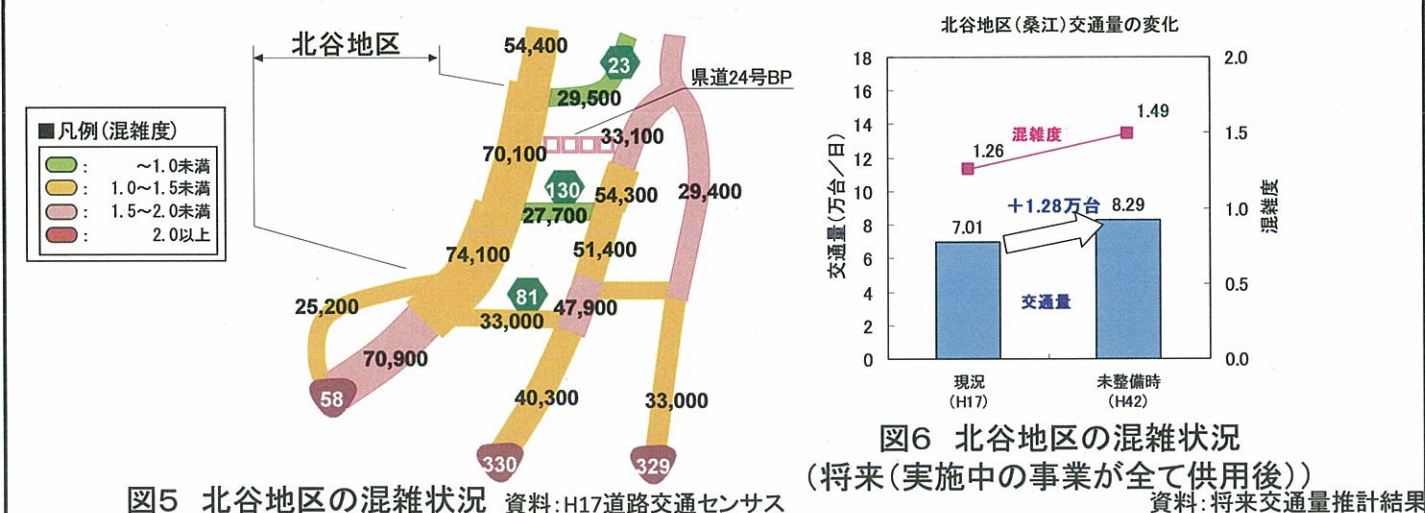
○北谷町(観光振興地域)では沿道の土地利用(既成市街地、米軍跡地利用計画)の促進について、交通渋滞が大きな弊害。



②直轄国道における交通容量不足

○北谷町において、沖縄本島を縦貫する主要幹線道路は国道58号のみとなり、通過交通、生活交通、観光交通等全てが当該道路に集中、そのため、直轄国道で平日、休日とも慢性的に交通容量が不足、混雑度が高い状態(図5)

○将来、当該地区においては、区画整理事業等の整備による商業施設の集積に伴い、さらに交通需要が増大し交通混雑が進む(図6)

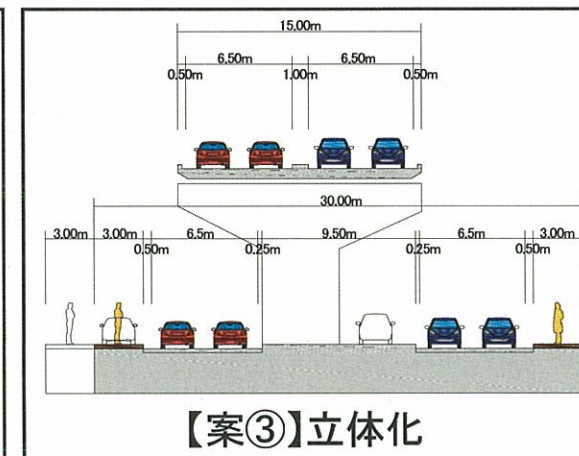
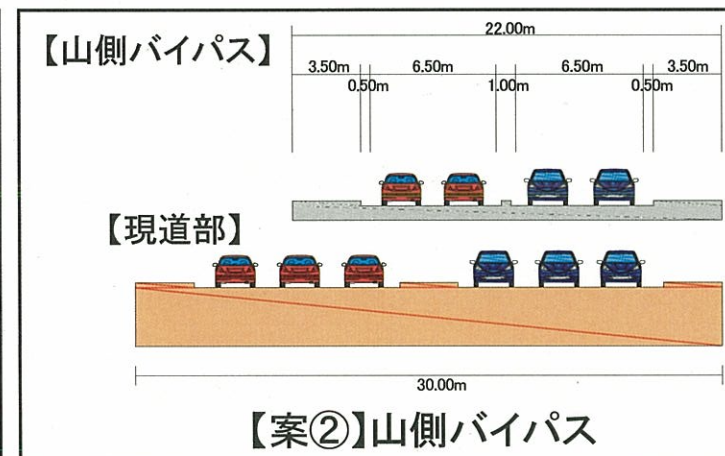
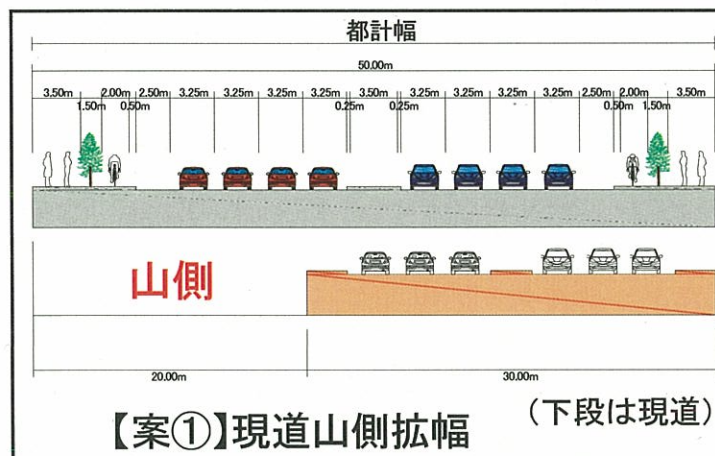


3. 政策目標

- ①直轄国道の交通容量確保による渋滞緩和
- ②北谷地区における地域活性化
- ③基地跡地利用支援

4. 対策案の検討

評価軸	【案①】現道拡幅(6車→8車、山側拡幅)	【案②】山側バイパス(4車)	【案③】立体化(高架4車、地上4車)
北谷地区の交通容量の確保 (指標:混雑度の解消)	交通容量を確保 ○ 混雑度(交通量) 国道58号 桑江 [現況] 1.26(70,100) →[整備後] 0.98(93,800)	交通容量を確保 ○ 混雑度(交通量) 国道58号 桑江 [現況] 1.26(70,100) →[整備後] 0.97(54,400+45,900=100,300)	交通容量をある程度確保 ○ 混雑度(交通量) 国道58号 桑江 [現況] 1.26(70,100) →[整備後] 1.17(49,900+62,000=111,900)
北谷地区における地域活性化 (指標:混雑緩和に伴う北谷地区での滞在時間の増加)	○ 国道58号の混雑緩和に伴い、北谷地区での滞在時間が増加。 商品販売額の増加も期待される。 約2.7時間 → 約3.4時間(約42分増加)	○ 国道58号の混雑緩和に伴い、北谷地区での滞在時間が増加。 商品販売額の増加も期待される。 約2.7時間 → 約3.4時間(約42分増加)	○ 国道58号の混雑緩和に伴い、北谷地区での滞在時間が増加。 商品販売額の増加も期待される。 約2.7時間 → 約3.3時間(約35分増加)
中部西海岸地域の渋滞緩和 (指標:中部西海岸地域における渋滞損失時間の低減)	○ 渋滞損失時間が約8%低減 約1,815万人時間/年 → 約1,668万人時間/年	○ 渋滞損失時間が約17%低減 約1,815万人時間/年 → 約1,499万人時間/年	○ 渋滞損失時間が約8%低減 約1,815万人時間/年 → 約1,673万人時間/年
速達性の確保 (指標:伊佐北交差点～アメリカンビレッジの移動時間の短縮)	○ 伊佐北交差点～アメリカンビレッジの所要時間の速達性が向上 約22分→約8分	○ 伊佐北交差点～アメリカンビレッジの所要時間の速達性が向上 約22分→約6分	○ 伊佐北交差点～アメリカンビレッジの所要時間の速達性が向上 約22分→約8分
コスト	○ 概ね230億円(補償物件16件)	× 概ね272億円(補償物件73件)	× 概ね474億円(補償物件6件)
その他	○ 米軍基地返還合意に基づく整備が可能	× 米軍との返還合意がなされていない部分を通過しており調整が難航する。	× 高架橋整備時の現道6車線確保のための仮設工事の規模等が大となり費用、施工期間が他案より不利。
総合評価	○	×	×



対応方針(案):案①による対策が妥当

【計画概要】

- ・一般国道路線名:一般国道58号
- ・区間:北谷町浜川～宜野湾市伊佐
- ・概略延長:4.3km 標準車線数:8車線
- ・設計速度60km/h
- ・概ねのルート:図7案①の通り

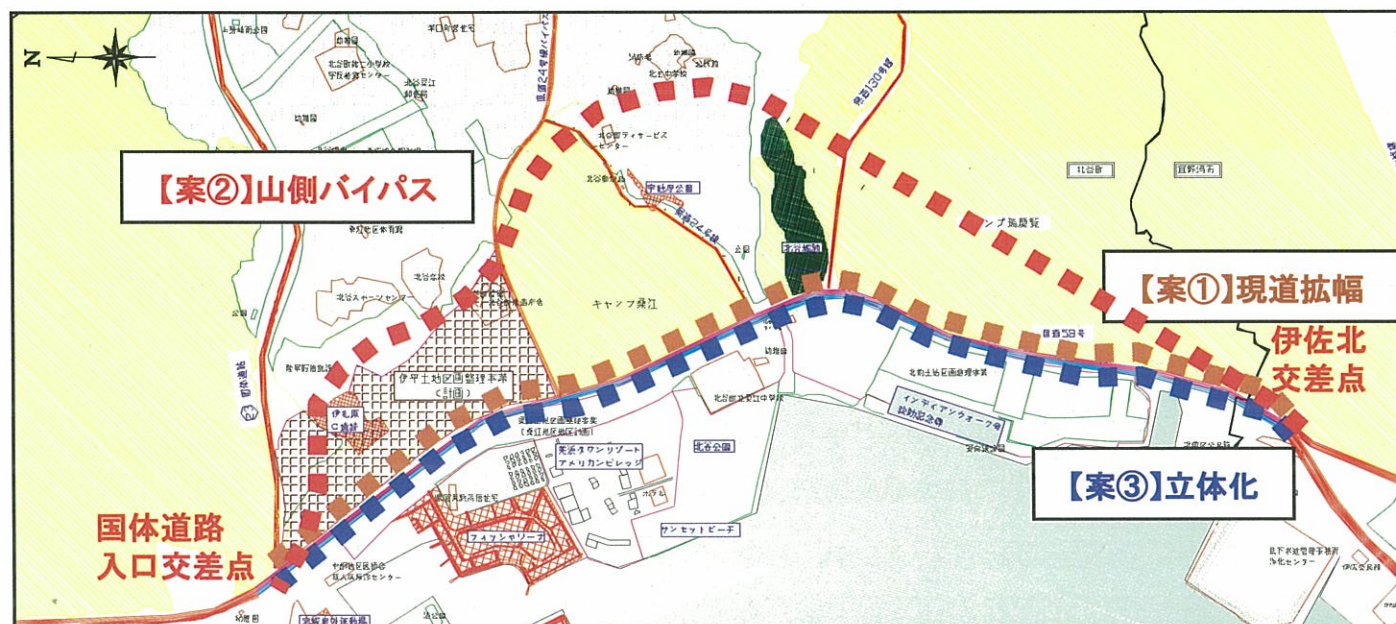


図7 国道58号北谷地区における対策案検討

(参考) 当該事業の経緯等

都市計画決定等の状況

- H 4. 9月:第3次沖縄振興開発計画(内閣総理大臣決定)に位置づけ。(沖縄西海岸道路)
- H14. 7月:沖縄振興計画(内閣総理大臣決定)に位置づけ。(沖縄西海岸道路)
- H22. 3月:案①により都市計画決定済み

地域の要望等

- H 2年6月以降:沖縄西海岸道路建設促進期成会等から要望書を提出(H23. 5まで計12回)
- H 8年12月:SACO最終報告(キャンプ桑江南側について海軍病院の移設先が完成後に返還)
- H21年10月:国道58号北谷拡幅事業の早期実施化について(要請)【北谷町長】
- H22年 5月:日米共同宣言(国道58号沿いの道路用地(インダストリアルコリドー)については優先的に返還されることが宣言)